

(第3種郵便物認可)



環境パイル工法を採用した福井市左内町の建設現場

県産「杉」で住宅地盤改良 ABコーポレーション

援初 森の再生に期待大

基礎工事や建築・土木
・不動産企画を行うAB
コーポレーション(福井
市四十谷町、油屋敏行社
長)は3日、福井市左内
町の住宅建設現場で見学
材に生かす「環境パイル
工法」採用の地盤改良工

事をお披露目した。間伐

材を利用し森の再生につ
なげる、文字通り「環境
配慮型の同工法に興味関
心をいだく設計者や工務
店、行政関係者ら約40人
が現場見学に訪れ、次々
と木製パイル(長さ約6
材計48本)を地中に埋め
込む作業を見守った。
今工事は県産材活用を
進める福井県が支援する
初の試みとして関心を集

今年度内に計25カ所計画

め、作業をまじかに見つ
めた県産材活用課の鈴
木秀治参事は(山の森林
に対して)「地中の森林
のよう」などと画期的な
工法へ期待の大きさを表
現。また構造設計のアー
サ代表で県建築士事務所
協会会長の櫻川幸夫氏も
今工法の普及拡大に着目
し、特に薬剤注入が(松
よりも)容易な杉の特長
に關心し「今後協会と
しても環境改善につなが
る生きた講習会を開催し
たい」などと熱い視線を
注いだ。今回の住宅(W
造2階建延約160平方
材)を設計する東畑建築
設計事務所の東畑慎治代
表も同様に注目し、住宅
街の一角で左内公園に隣
接する立地条件から「複
数ある地盤改良工法のう
ち、腐食面の課題も克服
し森林再生に資する今工
法採用に踏み切った」な
どかねて蓄積した木材
研究の成果を生かす構
え。この工法の技術提供
を担う大手の兼松日産農
林(本社・東京)から山田
剛営業推進部長と技術開
発課の中村博課長代理が
現地説明を務め、支持力
の詳細な設計計算式も盛
る地盤補強材工法につい
て「全国1000棟超の
実績を有すが行政支援を
受けて施工する例は少な
い」と先進モデルにふさ
わしい好例と紹介。AB
コーポの油屋社長は年度
内に県内計25カ所でも計
画し普及拡大への足が
かりへ向け意欲を示した。